

歳出科目（P 326～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市内遺跡発掘調査事業	13,131	11,881	1,250

主な財源		主な経費	
国庫支出金	6,562	報酬	2,292
県支出金	1,271	委託料	4,002
一般財源	5,298	共済費	118
		需用費	682
		使用料及び賃借料	5,689
		原材料費	146

### 【目的】

各種開発事業から遺跡を保護するため、発掘調査を行い、開発事業との円滑な調整を図る。

### 【実施内容】

(1) 事業主体から依頼を受けた次の12地区等について、発掘調査を実施する。

調査種別	No	開発事業名	地区名	工事計画面積 (調査対象面積 ha)
試掘・確認 調査	①	県営ほ場整備	中江有田地区	22.00
	②		石沢地区	12.00
	③		島田地区	20.00
	④		吉川区原之町地区	8.00
	⑤		大潟区・吉川区東潟地区	16.00
	⑥		三郷地区	15.00
	⑦		和田北部地区	5.00
	⑧		青野地区	10.00
	⑨	民間宅地造成	国府	0.40
	⑩	農村地域防災減災	板倉区針	0.98
	⑪	都市計画道路建設	黒井藤野新田線	1.60
本発掘調査	⑫	県営ほ場整備	大潟区・吉川区東潟地区	0.20
合計				111.18

※ 県営ほ場整備事業に係る本発掘調査（⑫）に要する経費のうち、「農家負担分」を本事業から支出する。

(2) 発掘調査報告書作成

『市内遺跡発掘調査概要報告書』の刊行

各種開発事業に伴う調査結果を概要報告書として公開する。

(参考)

- ・試掘調査：地表面の観察等からでは判断できない場合に行う埋蔵文化財の有無を確認するための部分的な発掘調査
- ・確認調査：周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲、性格、内容等の概要までを把握するための部分的な発掘調査
- ・本発掘調査：開発などで埋蔵文化財が失われる範囲について、その内容など詳細を記録保存するための発掘調査

歳出科目（P 326～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ほ場整備等遺跡発掘調査事業	179,567	154,276	25,291

主な財源		主な経費	
県支出金	179,563	報酬	4,629
一般財源	4	旅費	354
		職員手当等	993
		需用費	319
		共済費	1,075
		委託料	172,197

### 【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業地内において遺跡の発掘調査を行い記録保存する。

### 【実施内容】

#### (1) 本発掘調査

調査原因：県営ほ場整備事業

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
五十刈遺跡	集落跡	大潟区・吉川区 東潟地区	縄文・古代	2,000 m <sup>2</sup>

※ 上記に要する経費のうち、「農家負担分」を除いた経費について本事業から支出する。

調査原因：上越魚沼地域振興快速道路建設

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
立場遺跡 ・蓮花寺五輪塔群	遺物包含地 ・石塔	三和区末野	古代・中世	4,145 m <sup>2</sup>

#### (2) 整理作業

作業内容：令和元～3年度の本発掘調査で出土した遺物等の整理作業

調査原因：上越魚沼地域振興快速道路建設

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
神田原山窯跡	窯跡	三和区神田	古代	1,500 m <sup>2</sup>
原山遺跡	集落跡	三和区神田	縄文	5,800 m <sup>2</sup>
柵形城跡	城館跡	三和区末野	中世	895 m <sup>2</sup>



柵形城跡発掘調査風景

歳出科目（P 326～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
埋蔵文化財センター管理運営費	12,480	11,239	1,241

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	4	報酬	4,054
財産収入	18	職員手当等	473
一般財源	12,458	需用費	4,530
		役務費	165
		委託料	2,166
		使用料及び賃借料	546

### 【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究・保存管理・普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館などを結ぶ歴史巡りのルートとして利活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

### 【4年度目標】

入館者数：23,000人

（令和元年度：33,312人、令和2年度：20,298人、令和3年度見込み：22,800人）

### 【実施内容】

#### (1) 調査研究

- ・遺跡の発掘調査成果を記録として保存する。
- ・出土品等に関する情報収集や資料調査などを行う。
- ・発掘調査の成果を報告書等にまとめ、公開する。

#### (2) 保存管理

- ・発掘調査で収集した出土品等を整理（水洗、注記、接合、復元、写真撮影、図化など）し、適切に保存するとともに、資料の公開・活用ができるよう管理する。

#### (3) 普及公開

- ・主に縄文時代から戦国時代を対象とした通史的な展示のほか、上杉謙信公や春日山城跡に関する資料等の展示により、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。
- ・各地の博物館、資料館等に資料を貸し出すことで、広く市外での公開にも努める。
- ・収集した図書、発掘調査報告書、各種関連資料を公開し、市民の利用に供する。
- ・学校教育との連携を図り、小中学生の利用を促進するほか、生涯学習の場として活用を図る。

#### (4) 維持管理

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

### 【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日
観覧料	無料

歳出科目（P 326～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
「弥生のムラ」コミュニティパーク事業	18,127	16,415	1,712

主な財源		主な経費	
諸収入	110	報酬	4,263
一般財源	18,017	職員手当等	710
		共済費	866
		需用費	1,775
		委託料	9,664
		使用料及び賃借料	473

### 【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の保存・活用を図る。

### 【4年度目標】

- ・歴史講座等の実施により、市民に郷土への関心や理解を深めてもらう。
- ・釜蓋遺跡ガイダンス入館者数：10,000人  
（令和元年度：21,011人、令和2年度：8,934人、令和3年度見込み：9,600人）

### 【実施内容】

#### (1) 保存

- ・史跡隣接地の一部について、追加指定を進め保存を図る。

#### (2) 活用

- ・これまでの「釜蓋遺跡ガイダンス定期講座」を充実させ、各区の出土品の展示・解説や初心者向けの講座、体験を取り入れた講座などを「(仮称)じょうえつ歴史講座」として実施することにより、上越の歴史文化の魅力を発信する。
- ・小学校の総合的な学習の時間や歴史学習の場として施設を活用する。
- ・勾玉や土器づくり等に加え、発掘現場で採取した土を水洗いし、細かな出土品（石器など）を探す体験活動を試験的に実施し、釜蓋遺跡の新たな魅力発信につなげる。
- ・遺跡応援団との連携による体験活動や「吹上・釜蓋遺跡春まつり」などのイベントを実施する。
- ・釜蓋遺跡公園を屋外ローカル5Gラボとしての利活用に供する。

#### (3) 維持管理

- ・吹上遺跡及び釜蓋遺跡の草刈りなど史跡の適切な維持管理を行う。
- ・釜蓋遺跡ガイダンスについて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

### 【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日
観覧料	無料

歳出科目（P 326～P 329）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史的建造物等整備支援事業	12,723	7,530	5,193

主な財源		主な経費	
財産収入	1	報償費	50
寄附金	20	旅費	34
繰入金	12,618		
		負担金補助及び交付金	12,618
		積立金	21

### 【目的】

市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に対し、補助金を交付することにより、歴史的建造物等の保存と活用を図る。

### 【4年度目標】

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付件数：2件

### 【実施内容】

- ・対象事業 歴史的建造物及び産業遺産の保存又は改修に係る事業で、主体的なまちづくり活動による地域コミュニティの形成に資するもの
- ・補助率 3/4（限度額 7,500 千円）
- ・財源 歴史的建造物等整備支援基金
- ・認定 建築や歴史の専門家で構成する選定審査会の答申を経て、実施事業を認定
- ・交付決定 認定後、交付申請に基づき補助金の交付を決定

<これまでの補助金の交付状況（令和3年度は交付見込み）>

年度	件数	支援対象	金額
平成 21 年度	3 件	高田世界館、林富永邸、旧頸城鉄道百間町駅構内線路	14,502
平成 22 年度	3 件	林富永邸、平出修旧居、旧川上小学校体育館	18,178
平成 23 年度	1 件	飯田邸	1,579
平成 24 年度	1 件	飯田邸	5,921
平成 26 年度	3 件	旧頸城鉄道本社社屋、岩の原葡萄園石蔵、麻屋高野	16,855
平成 27 年度	2 件	麻屋高野、高田世界館	8,337
平成 28 年度	2 件	林富永邸、高田世界館	5,477
平成 29 年度	3 件	林富永邸、高田世界館、料亭宇喜世	14,323
平成 30 年度	2 件	白田邸、二本木駅	14,587
令和元年度	2 件	鴨井邸、飯田邸	8,369
令和 2 年度	2 件	鴨井邸、善徳寺経堂	8,354
令和 3 年度	1 件	麻屋高野	4,265
合計	25 件		120,747

※ 平成 25 年度は実績なし

提出課	スポーツ推進課
-----	---------

歳出科目（P 328～P 329）	10 款 6 項 1 目	保健体育総務費
-------------------	--------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
保健体育総務費	13,811	11,283	2,528

主な財源		主な経費	
財産収入	22	報酬	8,197
一般財源	13,789	需用費	1,770
		共済費	1,050
		役務費	544
		旅費	858
		負担金補助及び交付金	265

市民一人一人が生涯にわたってスポーツに親しみ、誰もがいきいきと生活できる活力あるまちづくりを目指す「いきいきスポーツ都市宣言」に基づき、スポーツや健康に対する市民の意識の高揚を図るとともに、市民の生涯スポーツ活動を推進する。

#### ○スポーツ推進審議会 276

##### 【目的】

市民の幅広いスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、市のスポーツ推進施策に関する調査・審議を行う。

##### 【4年度目標】

第2次上越市総合教育プランに基づくスポーツ施策の適切な進捗管理を行うとともに、次期計画の策定に向けた意見等を把握する。

##### 【実施内容】

スポーツ推進審議会（委員 15 人）を開催する。（年 5 回）

#### ○スポーツ推進委員 6,128

##### 【目的】

市民のスポーツや健康に対する意識啓発に取り組むとともに、上越市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ等と連携して、地域ぐるみのスポーツ活動を推進する。

##### 【4年度目標】

市民への実技指導や各種イベント等に参画し、地域スポーツの推進役として活動する。

##### 【実施内容】

- ・市民体力測定会やスポーツ・レクリエーションに関する出前講座など、地域と連携してスポーツ機会を提供する。
- ・スポーツ推進委員会議（委員 66 人）を開催する。（年 3 回）
- ・スポーツ推進委員スキルアップ研修会を実施する。（年 2 回）



スキルアップ研修会



出前講座

○スポーツボランティア登録制度 33

【目的】

市民にスポーツイベントの運営補助や実技指導の補助等に参加する機会を提供し、スポーツ活動に対する意識を高めるとともに、スポーツ推進の担い手を育成する。

【4年度目標】

スポーツボランティア参加延べ人数：60人

【実施内容】

えちご・くびき野 100 kmマラソン、高田城ロードレース大会、ファミリー綱引大会などにボランティアとして参加する。

○その他 7,374

会計年度任用職員報酬、職員手当、共済費、レルヒ少佐顕彰会等

提出課	学校教育課
-----	-------

歳出科目 (P 328～P 331)	10 款 6 項 2 目	学校保健管理費
--------------------	--------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
学校保健管理費	111,680	115,137	△3,457

主な財源		主な経費	
分担金及び負担金	5,941	諸収入	2,063
国庫支出金	156	一般財源	102,320
県支出金	1,200	報酬	47,944
		需用費	11,683
		役務費	30,486
		使用料及び賃借料	3,039
		負担金補助及び交付金	12,085

園児、児童生徒及び教職員の健康の保持増進と、安全で快適な学校環境の整備を図る。

○健康診断の実施 61,006

【目的】

学校医と連携しながら学校保健安全法に基づく健康診断を円滑に実施し、園児、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

【4年度目標】

- ・健康診断が円滑に実施できるよう、関係機関と適切な連携を図る。
- ・全ての教職員がストレスチェックを受検し、高ストレス者が希望する場合は医師による面接指導を実施する。
- ・検診器具の破損状況を確認するとともに、児童生徒の体格等にあった検診器具を配当できるようにする。
- ・業務補助員を適切に配置し、検診業務が円滑に実施できるようにする。

【実施内容】

- ・学校保健安全法に基づく、園児及び児童生徒の健康診断として、学校医による内科・歯科・耳鼻科・眼科検診を実施するとともに、検査機関に委託して尿検査、心臓検診等を実施する。
- ・教職員に対し、検査機関に委託して胸部エックス線検査、尿検査、心臓検査、血液検査等を実施するとともに、労働安全衛生法に基づきストレスチェックを実施する。
- ・健康診断が円滑に実施できるよう、検診繁忙期に児童生徒がおおむね 350 人以上の学校に業務補助員を配置する。また、検診医を補助するため、複数の検診医による歯科検診を実施している学校に業務補助員を配置する。
- ・歯科、内科、耳鼻科検診時に使用する検診器具の滅菌作業を実施するとともに、児童生徒の体格等にあった検診器具を整備する。

○歯科保健事業 6,406

【目的】

歯科保健教育やフッ化物洗口の実施により、園児及び児童生徒の歯の健康を保持増進する。



#### 【4年度目標】

- ・ 歯科衛生士派遣事業を継続し、歯科保健教育の推進を図る。

#### 【実施内容】

- ・ 市立幼稚園及び小中学校へ歯科衛生士を派遣し、口腔衛生についての講話やブラッシング指導を実施する。
- ・ 市立幼稚園児及び小中学生の希望者に対し、フッ化物洗口を実施する。
- ・ 児童生徒がおおむね 350 人以上の学校にフッ化物洗口の準備や後片付けのために業務補助員を配置する。

#### ○生活習慣病予防教育の推進 5,669

##### 【目的】

学校における児童生徒の生活習慣病予防教育を推進し、健康的で望ましい生活習慣の定着を図る。

#### 【4年度目標】

市内全小学 5 年生及び中学 2 年生の希望者を対象に血液検査を実施することにより、関係機関と連携した事前・事後指導を行い、生活習慣改善指導と生活習慣病予防教育の推進を図る。

#### 【実施内容】

- ・ 血液検査  
対象者 小学 5 年生及び中学 2 年生の希望者  
検査項目 小学 5 年生：脂質検査  
中学 2 年生：脂質検査＋貧血検査
- ・ 児童生徒数がおおむね 350 人以上の学校には、検査当日に業務補助員を配置する。
- ・ 血液検査の実施体制の変更（心臓検診と血液検査の同時実施、検査会場の集約）に伴い増大する学校負担の軽減のため、検査会場に運営を補助する業務補助員を配置する。

#### ○自動体外式除細動器（AED）保守管理 1,788

##### 【目的】

市立幼稚園及び小中学校に AED を配置し、学校において事故や病気により心肺停止状態となった人に対して、救急処置を行えるようにする。

#### 【4年度目標】

AED が常に正常な状態で使用可能であり、社会体育等の活動においても使用できるようにする。

#### 【実施内容】

- ・ AED が常に正常な状態で作動するよう保守管理を行う。
- ・ 校外学習やマラソン大会、水泳の授業等で使用を希望する学校や社会体育施設、市のイベントに貸し出す。

#### ○保健室備品の整備 3,322

##### 【目的】

保健室に必要な備品を整備し、園児及び児童生徒、教職員の健康の保持増進を図る。

#### 【4年度目標】

体調の悪い児童生徒等が安心して休養できるよう、必要な備品を購入配備し、保健室の環境を維持する。

#### 【実施内容】

- ・老朽化などの理由により、使用困難となっている体重計や視力計などの健康診断用備品や、緊急対応用の備品等を購入する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として整備した物品を有効活用し、徹底した感染症対策を継続する。

#### ○学校環境衛生検査の実施 13,296

##### 【目的】

園児及び児童生徒が安全で快適な学校生活を営むことができるよう、学校の環境整備を図る。

#### 【4年度目標】

- ・全ての学校において、学校薬剤師と連携し、学校環境衛生検査を円滑に実施する。
- ・検査測定器具や検査消耗品について優先度の高いものから整備を進める。

#### 【実施内容】

学校保健安全法に基づき、「教室等の環境」、「飲料水の水質」、「学校の清潔及び教室等の備品の管理」、「水泳プールの水質」などの学校環境衛生検査を、学校薬剤師又は検査機関が実施する。

#### ○保健室衛生材料費（感染症対策用の消毒薬や保健室の医薬品購入など） 4,905

##### 【目的】

学校における感染症の拡大防止と学校で負傷した際の救急処置が行える環境を整える。

#### 【4年度目標】

新型コロナウイルス感染症を始めとした学校における感染症予防対策の充実を図るとともに、緊急対応ができるよう救急薬品、衛生材料等の整備に努める。

#### 【実施内容】

- ・感染症対策用の消毒薬やけがの手当て等に使用する医薬品を、児童生徒数や学級数に応じて各学校で購入する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、日々の手洗いや校内の消毒作業に要する衛生用品を引き続き整備する。

[充]・児童生徒が生理用品を緊急的に必要とした場合に早急に対応できるよう、生理用品を校内のトイレに配備する。

#### ○災害賠償補償保険への加入負担など 15,288

##### 【実施内容】

- ・園児及び児童生徒が学校の管理下で負傷した場合に、医療費等の災害共済給付を行う。
- ・学校施設及び業務に起因する損害賠償を行う。
- ・学校医等が公務中に負傷等をした場合の災害補償を行う。

※ 上記の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。  
 ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和3年度3月 補正予算額 (※)	当初予算額	合計	令和2年度3月 補正予算額	当初予算額	合計	
640	111,680	112,320	0	115,137	115,137	△2,817

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

提出課	スポーツ推進課
-----	---------

歳出科目（P330～P331）	10款6項3目	体育振興費
-----------------	---------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
学校体育施設開放事業	9,790	7,478	2,312

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,055	報酬	348
一般財源	6,735	報償費	3,160
		需用費	2,726
		役務費	158
		委託料	2,830
		使用料及び賃借料	403

#### 【目的】

小中学校の体育施設を活用し、青少年の健全育成及び地域スポーツ等の活動を支援する。

#### 【4年度目標】

体育施設の適切な維持管理に努め、安全で快適なスポーツ環境を維持する。

#### 【実施内容】

小中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で市民に開放する。

項目 施設名	学校数 又は学校名	利用時間等	主な利用内容
体育館	小学校 47校 中学校 22校 合計 69校	・月～金… 19:00～21:00 ・土曜日… 9:00～21:00 ・日祝日… 9:00～17:00 ※学校の意向により異なる 場合あり	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、フットサル、卓球、ダンス、剣道、空手道等
グラウンド	小学校 44校 中学校 12校 合計 56校	・月～金… 5:00～7:00 17:00～日没 ・土日祝日…5:00～日没 ※学校の意向により異なる 場合あり	野球、サッカー等
テニスコート	大潟町中学校	・土日祝日…8:30～日没	テニス、ソフトテニス
プール	大島小学校 浦川原小学校※	・夏休み期間…9:30～15:30	水泳

※老朽化が著しい浦川原プールの在り方を検証するため、試行的に令和4年度は浦川原プールを休館し、代替施設として浦川原小学校プールを市民向けに開放する。

歳出科目 (P 330～P 331)	10 款 6 項 3 目	体育振興費
--------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
少年スポーツ活動育成事業	5,254	5,313	△59

主な財源		主な経費	
県支出金	580	報償費	76
財産収入	33	旅費	151
一般財源	4,641	需用費	7
		使用料及び賃借料	60
		負担金補助及び交付金	4,960

ジュニア世代から体を動かす習慣や基礎的な体力を身に付けるとともに、競技力の向上を図るため、各競技団体等の育成・強化に向けた取組を支援する。

○少年スポーツ育成事業や育成団体への補助 5,024

【目的】

各種目における競技力の向上を目指し、青少年の健全な発達と育成を図る。

【4年度目標】

各競技団体が取り組むジュニア選手のスポーツ活動を支援する。

【実施内容】

各競技団体等の活動を支援するため、補助金の交付などを行う。

事業名	予算額
上越市スポーツ少年団補助金	218
ジュニアトップアスリート育成強化事業補助金	2,448
地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金（県補助事業）	600
ジュニアスポーツクラブ補助金	1,527
居多まつり武道大会補助金	167
上田市交流事業「野球の日」野球大会出場事業	64
合計	5,024

○日本体育大学との連携事業 230

【目的】

日本体育大学と連携して、ジュニア選手の育成・強化など、スポーツ振興に向けた取組を推進する。

【4年度目標】

ジュニア選手の競技力の向上と指導者の指導技術の習得を図る。

【実施内容】

各競技の専門指導者を招へいし、ジュニア選手に対する実技指導及び指導者クリニックを行う。

- ・陸上競技…中距離走・ハードル・幅跳び・高跳びの練習方法及び指導方法
- ・バレーボール…基本技術及び指導方法

歳出科目 (P 330～P 331)	10 款 6 項 3 目	体育振興費
--------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
一般スポーツ活動推進事業	35,223	54,109	△18,886

主な財源		主な経費	
財産収入	10,349	報償費	3,535
諸収入	220	需用費	89
一般財源	24,654	役務費	80
		委託料	60
		負担金補助及び交付金	31,459

市民が気軽に参加できるスポーツ活動や競技力を高めるスポーツ活動の機会を提供するため、スポーツ団体等が開催する教室や大会等を支援する。

○各種補助事業等 31,519

【目的】

各種スポーツ教室や大会等を開催し、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。

【4年度目標】

- ・スポーツ教室や大会等への市民参加率：100%以上（延べ参加者数／人口）
- ・国体出場選手：30人以上

【実施内容】

- ・各種団体等の活動を支援するため、補助金等を交付する。 31,459

補助金等	予算額
スポーツ指導者養成事業補助金	880
スポーツアスリート育成強化事業補助金	2,100
上越市スポーツ協会運営費補助金	7,067
上越市スポーツ施設借上料等補助金	923
新潟県駅伝競走大会補助金	481
ビーチラグビー大会補助金	640
高田城ロードレース大会補助金	3,474
ビーチバレーボール大会補助金	183
えちご・くびき野 100km マラソン交付金	8,997
市民スポーツ祭補助金	786
レルヒカップスキー大会補助金	425
やすづかスポーツ大会補助金	108
牧区体育祭補助金	138
米山山麓ロードレース大会交付金	1,913
大潟区体育祭補助金	206
くびき総合スポーツフェスタ補助金	329
スカイスポーツ大会交付金	550
吉川区体育祭補助金	175
中郷歩くスキーとクロスカントリースキー大会補助金	168

補助金等	予算額
松ヶ峯トリムマラソン大会補助金	336
中郷区体育祭補助金	291
清里区体育祭補助金	196
清里区冬季スポーツ交流会補助金	140
三和区スポーツ大会補助金	485
名立区駅伝競走大会補助金	370
名立区歩こまいか名立補助金	48
名立区不動山登山補助金	50
合 計	31,459

・国民体育大会出場選手壮行会経費 60

○スポーツ振興奨励金 3,139

**【目的】**

全国大会及び国際大会等に出場する選手や団体に奨励金を交付し、市民のスポーツ活動の振興を図る。

**【4年度目標】**

・奨励金交付件数 青少年：個人 139 件、団体 12 件  
成人：個人 38 件、団体 3 件

**【実施内容】**

全国大会及び国際大会等へ出場する選手や団体に対して奨励金を交付する。

- ・全国大会：個人 10 千円、団体 50 千円
- ・国際大会：個人 30 千円、団体 150 千円

○ファミリー綱引大会 565

**【目的】**

市民の健康維持や体力づくりに対する意識を醸成するとともに、地域の協調と融和を図る。

**【4年度目標】**

参加数：40 チーム以上

**【実施内容】**

町内会、小学校区、地域自治区等を単位に参加を募り、綱引大会を開催する。

歳出科目（P 330～P 331）	10 款 6 項 3 目	体育振興費
-------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
地域スポーツクラブ育成事業	4,554	4,075	479

主な財源		主な経費	
県支出金	312	報償費	4,344
一般財源	4,242	旅費	13
		需用費	7
		役員費	90
		負担金補助及び交付金	100

地域に根差したスポーツ活動を推進するため、小中学校や各スポーツ団体等の取組を支援する。

○スポーツ活動サポート事業 4,405

【目的】

小学校の課外活動及び中学校の部活動に専門的な指導技術を有する外部指導者を派遣し、スポーツ活動の推進と競技力の向上を図る。

【4年度目標】

小中学校におけるスポーツ活動の指導体制を踏まえ、各競技団体と連携し、運動部活動等を支援する。

【実施内容】

小中学校の意向を踏まえ、外部指導者を派遣する。

- ・小学校 12 校（延べ 123 回）  
（合併前上越市 7 校、牧区、大潟区、頸城区、中郷区及び三和区の各 1 校）
- ・中学校 16 校（延べ 1,320 回）  
（合併前上越市 6 校、浦川原区、牧区、大潟区、頸城区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、三和区及び名立区の各 1 校）

○総合型地域スポーツクラブの育成 149

【目的】

地域住民が主体となって生涯スポーツを実践する総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、地域に根差したスポーツ活動の振興を図る。

【4年度目標】

市内の総合型地域スポーツクラブと連携し、地域のスポーツ活動を推進する。

【実施内容】

- ・総合型地域スポーツクラブの指導技術の向上を図るとともに、クラブ間の情報共有や連携を促すため、研修会を開催する。
- ・平成 31 年 4 月に設立された中郷区さとまるスポーツクラブに活動支援補助金を交付する。
- ・総合型地域スポーツクラブがなく、スポーツに親しむ機会が少ない地域でスポーツ教室を開催し、地域のスポーツ活動を担う人材や団体の育成につなげる。



## (設立状況及び会員数)

No.	地区名	名 称	設立年月	会員数
1	合併前 上越市	TMTクラブきたすわ	平成15年3月	1,420人
2		津有北部地区スポーツクラブ	平成18年2月	3,033人
3		総合型地域スポーツクラブ高土地区体育協会	平成15年4月	1,300人
4	安塚区	やすづかスポーツクラブ	平成16年12月	30人
5	浦川原区	NPO法人うらがわらスポーツクラブ	平成16年11月	129人
6	柿崎区	かきざきスポーツクラブ	平成17年10月	275人
7	大潟区	NPO法人おおがたスポーツクラブ	平成20年2月	309人
8	頸城区	NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ	平成15年10月	971人
9	中郷区	さとまるスポーツクラブ	平成31年4月	3,472人
10	板倉区	いたくらスポーツクラブ	平成16年8月	151人
11	三和区	NPO法人さんわスポーツクラブ	平成17年5月	260人
12	名立区	総合型地域スポーツクラブ名立体育協会	平成21年5月	71人
合 計				11,421人

※会員数は、令和3年9月30日現在